



仙台青年



SENDAI YMCA NEWS

2023年12月20日発行
公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 加藤雄一
編集人 / 松島晃子



仙台YMCAこども園のクリスマス

YMCA南大野田こども園

「私たちにできることは何だろう」担任から「国際・地域協力募金」について話を聞いた年長児は、世界中では、自分たちと同じくらいの年の子が、満足な暮らしが出来ていないことを知り、思いを巡らせていました。

ある日、指編みをしていた女の子が、「指編みで沢山(作品を)作って、バザーをしたらどうか」と思いついたのです。

その日から、自分のためではなく、誰かのために髪ゴムやカチューシャを作ることに励みました。コツコツと準備を行い、ついに子どもたちのミニバザーが開催されました。当日は、年長児が店頭に立ち、小さな子や保護者の方にも大盛況でした。そこで得た収益は、クリスマス礼拝の献金感謝で捧げることとなりました。

誰かのためを思って自分のできることをする、「世界で困っている人を助けるんだよ」と年下の子どもたちに伝え継いでいく…。

これまで神さまの御言葉に触れて育ってきた子どもたちだからこそその行動に嬉しく思う出来事でした。

(YMCA 南大野田こども園 主幹保育教諭：山田彩子)

(第2面に続く)



YMCA長町保育園

アドベントの期間中、木の実や葉、羊毛など自然素材を使った温かみのある手作りのものを飾り、クリスマスを迎える準備をしています。

玄関や保育室に飾るクリスマスリースも毎年手作りしており、今年は保護者の方にもご協力いただき、一緒に素敵なリースを作ることができました。子どもたちも聖家族や飾り物に優しく触れたり、手作りリースを指さし、眺める姿が見られます。園内がクリスマスの喜びとあたたかい雰囲気に包まれるひとときです。

世界では、争いで不安な毎日を過ごす方、食べる物に困る方々がいる一方で、何でもすぐに手に入る世の中にあり、物を粗末にしてしまう現状もあります。身近な自然に感謝したり、手をかけ心を向けることで愛着が生まれ、大切にしたいと思う気持ちが子どもたちにも伝わりますようにと祈ります。



(YMCA 長町保育園 主任保育士：堀籠紫沙)



YMCA西中田こども園

ページェントごっこが始まると、「む〜か〜し む〜か〜しイエスさまは〜♪」と口ずさむ嬉しそうな歌声が響き渡ります。

クリスマスの日の出来事を丁寧に伝え、どの役も大切であることを子どもたちと一緒に確認しました。「羊飼いと博士をやりたい!」「全部やってみたい!」と意欲的な子どもたち。ある日、年長児の子どもたちとクリスマスの日の絵本を見ていた際、「まだ馬小屋作ってないじゃん!!」と話す子がいました。



一つひとつの場面を想像しながら、自分たちが演じるページェントに必要なものを考えていたのです。「何で作るの?」「難しそう」と話しながらも、次々にアイデアが飛び出し、試行錯誤の後、やっと完成…。普段の遊びの中でもその馬小屋の中に入って友だちと一緒に語り合いながら、クリスマスを心待ちにしています。手作りの馬小屋の中で、あたたかい雰囲気に包まれた子どもたちのように、皆さんにも心あたたまるクリスマスが訪れますように…。

(YMCA 西中田こども園 主幹保育教諭：木村由佳)

YMCA加茂こども園

園の中がクリスマスの雰囲気になるころから、子どもたちのクリスマス制作も少しずつ始まります。

三人の博士たちが捧げた3つの宝もの(没薬・乳香・黄金の宝物)がクリスマスプレゼントの始まりと言われており、子どもたちにそのような話をすると「ママの好きな色を使って作りたい!」「パパにあげたいな。」と大好きな保護者の方のことを思いながら、プレゼントの制作に取り掛かります。

きっと子どもたちはプレゼントをもらう側になることが多いはずですが、幼児部の子どもたちはクリスマスの本当の意味を少しずつ知りながら、このクリスマス制作をきっかけとして贈る相手のことを思い、一つひとつ心を込めて作っています。



(YMCA 加茂こども園 主幹保育教諭：岩根久仁恵)



仙台幼児保育専門学校3年 大高 優衣 さん

私は、専門学校の学習システムの一環として、旭ヶ丘児童館でデュアル教育をさせていただいています。デュアル教育は私の通っている専門学校で東北初となる今年度からの取り組みで、通常の児童館実習とは異なり、週3日実際に旭ヶ丘児童館で働かせていただきながら子どもと直接触れ合う中でスキルを磨き、週2日は学校で学びを深める、というものです。

私は今まで保育園や幼稚園で乳幼児と触れ合う機会は多くありましたが、小学生との関わりがあまりなかったため、初めは上手く馴染めるか不安でいっぱいでしたが、職員の方々が優しく迎えて下さり、子どもたちも笑顔で「ゆいリーダー！」と駆け寄ってきてくれる姿から緊張も和らぎました。また、私が描いた絵に子どもたちが塗り絵をする、という私の得意なことが活かされる遊び方を子どもたち自身が発見してくれたことが、子どもたちと打ち解けるきっかけになったと思います。そして、子どもたちから様々な話を聞く中で、私が知らなかった最近の流行りのキャラクターや歌、遊びを知る良い機会にもなり、1日1日の活動がとても楽しいです。

児童館は小学生だけでなく乳幼児親子の行事も行われているため、保護者の方や地域の方の温かさにも触れることができました。このような行事を行うにあたり、職員の方の準備から実践までの過程を間近で見させていただく中で、環境構成や製作物などの準備のお手伝いを行い、貴重な経験をさせていただきました。

旭ヶ丘児童館でデュアル教育をさせていただく中で、現場で直接子どもに関わることでしか得られない喜びや難しさ、私自身の課題を実感し、子どもに対する距離の詰め方や注意の仕方など試行錯誤しながら活動させていただいています。残りのデュアル教育の期間も残りわずかなので、職員の方々の子どもの関わり方や対応の仕方などの技術をよく見て学びたいです。また1日1日を大切にしながら、子どもたちの思い出の一部になれるように努め、楽しく活動していきたいと思っています。



連載

加藤 総主事の
『みつかる。つながる。
よくなっていく。』

第7回
「メリークリスマス」



定禅寺通りの光のページェントが輝き、街は多くの人々が繰り出して賑やかになってきました。先日一足早くYMCA職員クリスマス礼拝が東一番丁教会で開催されました。礼拝の後にはみんなで楽しい祝会を行っていますが、私の目の前の席に座ったのは職員のお子さんでした。今度幼稚園のクリスマスで羊飼いの役をすることになったという彼は、みんなから声をかけられて本当に楽しそうに会に参加していました。

ところで、新約聖書の時代の羊飼いは、人口調査の対象にもならない、人間扱いされない、夜通し羊の番をするだけの人たちでした。イエスの誕生の知らせはそんな誰も気に留めなかったであろう人たちに一番最初に知らされました。神様にとって一番大切な存在だからです。そして最も小さな人のそばにいつもいてくれるイエス・キリストをこの世に送った。それがクリスマスの物語の一コマです。

私たちも孤独を感じたり、小さくされている人々のそばにいる存在になりたいと思います。

暗い夜に光をもたらすページェント。私たちの日々の活動が神様に用いられますように祈ります。メリークリスマス。



仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えよう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

佐々木 千晴 さん（にじ組 千尋さんの母）

「YMCAって、子どものことはすごく大切にしてくれるけど、親はけっこう大変だぞ...?」

引越しや待機児童期間など諸事情あり、5園目の保育園で感じた、はじめの感想です。

毎日の泥の洗濯物は、洗っても洗っても茶色に水が濁り、靴は月曜日から泥でコーティングされ、中からは面白いくらい砂が出てくる。お迎えに行った時点で次男は全身泥だらけ、服を脱がせシャワーを浴びせてから帰る毎日。

でも、子どもたちはとっても楽しそう。「今日はこれをやりたい!」という意思を持ってキラキラした目で遊んでいる。大きな声で子どもを動かそうとする先生もいない。水道の蛇口で遊んで全身びしょ濡れの乳児さんも、五感を研ぎ澄ませた成長の一環と、穏やかに見守られている。ここにいる子どもたちは幸せだろうな。小学校に入る前の数年間を、こんなところで過ごせたら最高だろうな。このキラキラした表情のために、親も一肌脱ごうと私も変わったのだと思います。

YMCA保育園は、子どもの思い・感じたこと・興味を持ってやってみたいことをとても大切にしてくれる園だと思います。大人の手のひらの上で子どもを転がすのではなく、子どもを中心に考えています。お陰さまで、私たち夫婦は子どもと過ごすことで気づく発見を、思った以上に楽しめています。虫の観察、石を拾って調べて遊ぶ、水遊び、木の実で工作、雪遊び、素敵なクリスマス装飾をしてくれる先生方に刺激されて、家で生木のリース作りまで楽しむようになりました。

YMCA保育園を知ることで、「忙しくて大変な子育て」だけではなく、子どもと一緒にいろんなことに興味を持ち、楽しみ、自然や文化の不思議に気づき、彩り豊かな人生になってきているのかな、と感じています。



街頭募金のご報告



11月23日（祝）、フォーラス前とGUCCI前の2箇所でパレスチナ緊急支援街頭募金がたくさんのボランティアのご協力のもと実施されました。

13時から15時で実施し、165,860円の募金をいただくことができました。心から感謝申し上げます。久しぶりの街頭募金でしたが、道行く人はもちろん、卒園児や卒業生、会員の皆さんや元職員の皆さんなど、多くの方にお声をかけていただき大変励まされました。平和を願うYMCAの活動が一人ひとりの願いとともに広がっていくことを願います。

今回皆様からお預かりした募金は、別に封筒募金でお預かりしたパレスチナ緊急支援募金220,721円と合わせた386,581円とともに、12月11日に日本YMCA同盟に送金させていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

国際・地域協力募金委員会 小幡 忠弘

第52回仙台YMCAクリスマスを開催しました



12月1日（金）、トークネットホール仙台・展示室を会場として、『第52回仙台YMCAクリスマス』を開催しました。

ここ数年間は、新型コロナウイルスの感染拡大によりあらゆる制限のもと実施されてきた仙台YMCAクリスマスですが、今年は制限を設けず以前とほぼ同じ形式で実施しました。来場した皆さまが飲み物を片手にオードブルやお菓子を囲んで談笑する光景や抽選会上がる大きな歓声が、クリスマス会をより盛り上げてくれていました！

総参加者数200名（うち留学生50名）を超える多くの皆さまにお越しいただきましたこと、また、準備や運営にさまざまな形でご協力くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

第52回仙台YMCAクリスマス実行委員会 松島 晃子

維持会費 (11月22日～12月16日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

維持会員B	パートナー会員B	法人会員B
加藤 研	加藤 真紀子	(有)親愛社

※敬称略

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ: 本部事務局

TEL: 022-222-7634
FAX: 022-222-2952